

2022年 「第63回全日本新人選手権大会」

ドーピング防止教育アスリート向け eラーニングシステム受講と修了証の提出について

標記大会の出漕にあたり、ドーピング防止教育のアスリート向けラーニングシステムの修了証の提出を義務付けます。これは、選手のドーピングに対する基本的知識の習得方策として、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のeラーニングシステム「FAIR PRIDE アスリートコース（2021年規程版）」を利用して、ドーピングに関する自己学習をすることを目的としているものです。「第63回全日本新人選手権大会」については、以下の要領で実施いたします。

- ・ 対象大会名： 第63回全日本新人選手権大会（2022年10月21日～23日）
- ・ 履修システム：
以下を4月1日以降に受講し、「修了証」を発行すること
JADA（日本アンチ・ドーピング機構）HP内にある、eラーニング「FAIR PRIDE」
URL：<https://www.playtruejapan.org/jada/e-learning.html> 「アスリートコース(2021年規程版)」
※受講に必要なパスコードは、JARA 競漕エントリーシステム内のお知らせ欄に記載
※eラーニングのユーザーガイドは別途掲載のものを参照のこと
- ・ 修了証提出方法：
システム内のプログラムを全て受講修了すると修了証を発行することが可能となる；
① 2022年9月30日（金）までに修了証を提出のこと
② 提出方法
FAX 03-5843-0462 まで。表紙に団体名と提出者名記入のこと
又は
E-mail ikagaku@jara.or.jp まで。団体名と提出者名をメール本文に記入のこと
- ・ その他：
受講は年度毎に1回でよいが、修了証の提出が必要な大会申込の際に毎回必要となるため各自保管すること
昨年度と同じユーザーIDで履行修了した場合、修了証の日付は昨年度の日付のままとなりますが、当該修了証をご提出ください。管理者サイトにて最新受講日を確認いたします
「第100回全日本選手権」「第72回社会人選手権」「第49回全日本大学選手権」「第62回オックスフォード盾レガッタ」で修了証提出済みの選手は、再提出の必要はありません

背景：日本ボート協会ではこれまでアンチ・ドーピング規定に則り、JADAとの協力体制のもとに競技会内ドーピング検査を実施してきました。アンチ・ドーピング規定は国内および国際競漕規則に明記され、クリーンで公正なスポーツ活動に必須のルールです。2019年5月の全日本選手権での競技会内検査の結果、ボート競技の選手にアンチ・ドーピング規則違反の決定裁量が下されました。規則違反が生じる背景として、選手はもとより監督・コーチのドーピングに対する基本的な知識の習得・確認の機会が少ないことが挙げられます。日本ボート協会は今回の規則違反事例を重く受け止め、選手がアンチ・ドーピング規定を順守するように上記大会に出場する際にはeラーニングシステム受講することを必須としました。また、JADAは、ドーピング防止教育・啓発活動を重視しており、すべてのアスリートとその関係者へのドーピング教育に関する具体的な実施を各競技団体に求めてきております。